



平成30年度 事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表集計結果

公表日:平成31年3月29日

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
体制整備・環境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			個別療育ブースのスペースは適切だが、グループ療育時のスペースは活動によってはやや狭く感じるためパーテーションの移動等で改善したい。また、休憩時やクールダウンのためのスペースが十分でないため今後設備面での検討をしたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	✓			常時、職員配置基準よりも多い人員を配置しているが、療育後の保護者報告時などに見守りの人員が不足する時間帯が存在する。児童の通所時間や職員の配置を工夫する等して改善したい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	✓			施設内に目立った段差等はなく、トイレに手摺を設置する等、バリアフリー化の配慮をしているが事業所の構造上、やや通路が狭い部分がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓			毎日業務の振り返りと共有を行うことで事業所内でPDCAサイクルの定着化を図っている。また、法人内でも全事業所のスタッフを対象に職員会議やケースカンファレンス、研修を定期的に行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓			保護者向け評価表を活用することでアンケート調査を実施している。また、年に2回利用者の保護者を対象とした懇談会を実施し、顔を合わせた場で意見交換ができる場を設けている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			ホームページにて公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			✓	第三者機関による外部評価は実施していない。スーパーバイズ(臨床心理士)を外注講師として委託し、療育サービス面での業務改善に活かしている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			スーパーバイズ(臨床心理士)によるケースカンファレンス 1回/月 その他職員研修を定期的に行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			毎回の療育時に10分間の保護者とのアセスメントを行うと同時に、年に2回個人面談を実施し、より詳細な聞き取りを行った上で計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			利用者の適応行動の状況を図るため、法人のアセスメントシートを使用しながら指標該当判断のためのチェックシートも活用している。また、法人内にはWISC検査を実施できる環境にあるが、全利用者には行っていない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			個別療育での課題については児童発達支援管理責任者のサポートの下、各療育担当者が立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓			毎回の療育の課題の取り組みの様子や進捗から都度、発展をさせているので固定化はしない。また、障がい特性等により意図的に固定化した課題を加えることもあるがその場合も保護者との相談のもとでサービスの提供を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓			それぞれの長期休暇等、季節に応じた課題を都度設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		✓		業務開始時の打ち合わせと業務終了後の振り返りを行い、確認を行っているが、業務開始時の打ち合わせは準備に追われ、打ち合わせを行えない時もあるので、改善したい

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓			業務開始時の打ち合わせと業務終了後の振り返りを行い、確認を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			各療育毎に支援記録を記入し、支援の検証・改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			年に2回モニタリングを行った上で保護者と個別面談をし、個別支援計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	✓			ガイドラインの基本活動に則した活動を組み合わせた支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓			相談支援事業所のサービス担当者会議に招集された場合は該当児の療育担当者または児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	✓			学校の事業所連絡会等への参加やその他連絡により情報共有を適宜行っているがそれ以外での方法での情報共有の機会には設けられていない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		✓		現時点で医療的ケアが必要な子どもの受け入れの実績がないため主治医等との連絡体制の整備を行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		✓		就学前の保育所、事業所等での様子は保護者から聞き取りを行っているが直接の情報共有については必要に応じて対応している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	✓			放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所の移行に伴っては移行先事業所や保護者の要望があれば支援内容の共有や配慮すべき点等の情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓			児童発達支援センターを含めた定期的な連絡会に参加し、連携をしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			✓	法人で企画・開催するイベントを通じて地域の子どもたちと交流する場を設けているが放課後児童クラブや児童館等との交流は法令上の適正な施設運営の観点からも行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	✓			海老名市の自立支援協議会の各チームへの参加や本大会に積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			毎回の療育後に必ず保護者と情報共有をする時間を設け、児童の状況や課題について共通理解をもてるようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		✓		毎回の療育後の保護者への報告の時間やその他要望に応じた相談時間においてペアレント・トレーニング等も行える時間を設けているが、各指導員の知識・能力によっては十分でない場合もあるため、研修等を通じて改善を図っていきたい。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			新規契約時ならびに毎年の契約更新の際に十分に説明を行う機会を作っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			毎回の療育後の時間に保護者からの悩み等に対する相談に応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓			年に2回、保護者を対象とした懇談会を開催している。またその他定期的に保護者と対象とした茶話会を開催している。その他父母の会の研修、勉強会や懇親会に参加している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			事業所に苦情受付窓口の掲示と意見箱を設置し、担当職員を含めた対応体制を整備し、苦情があった場合は迅速かつ適切に対応できるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓			各イベントの様子や活動概要等はHPIにて掲載すると同時に行事予定や連絡体制等の情報は利用者メーリングリストにて発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	✓			個人情報の取り扱いについて保護者に文書にて説明を行った上で、肖像権の意向書を取るなど、十分に注意して取り扱っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			意思疎通や情報伝達のために、ケースや状況に応じた配慮を行っている。(保護者とは連絡帳を活用、発語の少ない利用者とはコミュニケーションカードやサイン言語の活用)
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓			利用者だけでなく、地域住民等一般の方も広く対象としたクリスマスコサートを開催することで地域に開かれた事業運営を図っている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		✓		非常災害時等の緊急対応マニュアルは事業所に非常災害対策計画を備え置き閲覧できるようにしている。また、感染症対応マニュアルも策定しているが、不審者等に対する防犯マニュアルは未策定のため、今後整備していきたい。また、職員ならびに保護者への周知も同様に改善していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			年に1回以上の避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			神奈川県「障がい者虐待防止・権利擁護研修」を修了した職員が職員研修にて伝達研修を行った。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		✓		やむを得ず身体拘束を行う場合については契約書等に明記の上、保護者に説明しているが個別支援計画に記載はしていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		✓		食物アレルギーのある児童については、保護者からの聞き取りをもとにおやつの内容を変える等の対応を行っているが、保護者から医師の指示書の提出を受けた実績はない。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			✓	日々の療育で想定される危険や実際に起きた事例について注意喚起は行われているが共通のヒヤリハット事例集は作成できていないため、今後職員から事例を収集し、作成をしたい。	